

フクダニユース

発行



(株)...

砕石部

表彰御札

社会保険事務局長表彰

さる十一月二十七日、盛岡市民ホールにおいて開催された社会保険事務局委員研修会に、当社が岩手社会保険事務局局長表彰をいただきました。

事務部門は、普段縁の下の力持ち的存在で、間違いなくやっておりますが、当たり前の業務がなされがちです。大切な業務を継続していくことの大切さをあらためて感じました。

これから適切で正確な対応に努めてまいります。



いわて県北クリーン本格始動へ

来年4月事業開始予定のいわて県北クリーンの施設見学会に参加させていただきました。

現在施設は9割方完成し、その偉容を現している。環境負荷低減や作業の安全確保への対応、資源やエネルギーの有効利用の考え方を随所に取り入れた先進的、近代的施設であった。



今後試運転を経て、4月から本格稼働となるとのことで、



～密度の話し～

密度とは、『単位体積あたりの質量』とありg/cm³とかt/m³のような単位を付けて表す。一般的に岩石の場合、密度が大きいほど緻密で堅硬である。JIS規格では絶乾密度2.5g/cm³以上と規定されている。しかし、重ければいいというものではない。仮に密度19.32g/cm³の金で砕石を作ったとすると、10tダンプに0.5m³しか積むことが出来ないのだ。

これでは大きな構造物や道路を建設する場合都合が悪い。なによりまぶしくて大変である。

岩石特有の密度と製品ごとの密度(単位容積質量)は異なり、通常粒度範囲の広い40~0等の路盤材は重く、粒度範囲の狭い13~5等の骨材は軽い。軽い骨材を配合により組み合わせ2.3t/m³程度のコンクリート構造物やアスファルト舗装をつくっている。一方、路盤材や現場の土は基本的にのり(結合剤)を使わず、転圧によって所定の密度に仕上げる。その場合重要となるのが水分量(含水率)で、パサパサでもベチャベチャでもダメでちょうどいい具合に締め固まる水分量(最適含水比)がある。締め固めによって密度を大きくできると大きな支持力が得られる。

かのごとく、砕石は単位体積あたりの質量(密度)を高めることで、強く丈夫な建設物ができるのである。以上、砕石

珍客二題

ある日、鉄関係の部品を扱うあまりご縁のない商社の営業さんが尋ねてきた。名前は、『呉静さん』。なんとうら若き中国人女性である。宇都宮大学を卒業後、日本企業へ就職したとのこと。仕事の話はほとんどせず、身の上話となってしまったが、赤いツナギを着た彼女の姿が私の脳に記憶されてしまった。

後で名刺を見ても誰だったか思い出せないこともある中でひょっとしたら相当な営業効果かもしれないと思う。

事務所のまわりで首輪をつけた茶の雑種犬が徘徊している。ビスケットやせんべいで手なづけたら、玄関付近に寄るようになった。警戒心と好奇心の板ばさみで、最初は躊躇していたが最近では事務所内へも入るようになった。しかし、決して事務所荒らしはしない。よそのお宅におい風で、クンともワンとも鳴かずに、ひたすらどこに何があるか入念に点検するのである。その節度ある姿に感心したり癒されたりする自分がいる。



編集後記

いよいよ師走一年早いものですね。

今年は雪が降ったと思ったら積もってしまい、いきなり砕石所は除雪作業の朝の始まりでした(〃)

さて、本年も色々ご迷惑やいたらない点がありましたこととお詫び申し上げます。来年もご愛顧いただけますよう宜しくお願い申し上げます。



年末年始休暇 12月30日(火)~1月4日(日)

ス々・女性ドライバー参上

何年かぶりに福田運送に女性ドライバーが入社しました。彼女は、盛岡の運送会社にいたのですが縁あって浄法寺に嫁いできました。学生時代からバレーボールをやっていて現在も現役ママさんバレーボーラー、かつ小学生にも指導をしているスポーツマンです。おおらかで明るく頼もしい性格!先月記載した新車についていますので主にプラント関係におじゃまします。



リムジンバス

先日、神奈川県藤沢市でリムジンバスを見て、ついカメラに撮ってしまいました。近くに大学があるためこのようなバスが活躍しているそうです。一瞬見ると、どこから乗ればいいのか迷い(笑)、駅によって乗車が変わり、降車は運賃支払いの前ドアなんだそうです(ややこしい) 車体の接続部はターンテーブルの構造となっており、このターンテーブルは前方車体とくっついており、カーブなどでは後部車体と曲がりが生じるそうです。前部車体の最後部座席はなんと後ろ向きになっており、ここに座るとなんと妙な移動空間を味わえるそうです

